

発行
ことう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137

いのちとくらしを守ろう 平和で福祉の花咲く江東区に

ホームページ <http://www.koto-minpo.jp/>

6月13日より江東区議会
第2回定例会が始まり、共
産党区議団の大つきかおり
区議、そえや良夫区議、正
保みきお区議が本会議質問
を行いました。



消費増税に反対を
大つき区議は、「消費税
増税」について「区民生活

認可保育園をつくれ
また保育問題では、待機
児解消にならず、保育の質
の低下につながる「子ども
子育て新システム」に反対
し、区の責任で認可保育園
の建設をすること。孤立死
を生み出す社会環境の改善、
再生可能エネルギー導入支

区内業者に仕事を
そえや区議は、経営が大
変になっている区内業者か
ら要望の出ている住モリフー
ムへの助成制度や小規模登
録制度の創設、公契約条例
の制定や商店街の電気代補
助の拡充などを求めました。

防災対策の抜本的強化を
正保区議は、木造住宅や
マンションの耐震化助成の
拡充、耐震シェルターや簡

国保問題では、高すぎる
保険料を払えない世帯が増
えている現状に対し、滞納
世帯の相談に応じ保険証を
配布すること、差し押さえ
など強制徴収はやめること、
国保財源に国の責任を求め
ました。



激励する共産党区議団

6月13日江東区社会保障推
進協議会の主催で、「第17回花
咲デモ」が開催されました。
集会では、江東区社会保
障推進協議会会長の吉澤敬
一さんから「税と社会保障
の一体改革を許さず、消費
税増税に反対、いのちを守
る医療と介護を実現させま
しょう。原発からの撤退、
被災者が一刻も早く生活再
建できるように共に力をあ
わせましょう」とのメッセー
ジが紹介されました。
情勢報告にたった日本共
産党の正保みきお区議は、
行財政改革のなかで、がん
検診の有料化が進められて
いることをあげ、「がん治療
は早期に見つけることが大
切で、いまでも低い受診率
をさらに引き下げてしまっ
ていく恐れがある」と語りまし
た。また滞納世帯に対する過
酷な取り立てが行われてい

ると告発「分納の相談をし
ているにも関わらず、預金
を差し押さえる事態が起き
ている。みなさんと力を合
わせて、いのちとくらしを
守る政治を実現させたい」
と訴えました。
各団体からの決意表明が
おこなわれ、生活と健康を
守る会佐藤麻美会長は「芸能
人の母親の生活保護受給を
取り上げ、制度の改悪をし
ようとしている。生活保護
はすべての国民が困窮に陥っ
たときに申請できる憲法25
条に基づいた制度。改悪を
許すわけにはいけません。み
なさんとともに力を合わせ
ましょう」と呼びかけまし
た。
最後に「いのちとくらし
を守ろう！福祉の花が咲く
江東区へ！」との集会アピ
ールを採択し、江東区役所ま
でデモ行進しました。

6月10日、江東民主商
工会は総合区民センター
で第67回定期総会を開催
しました。
来賓あいさつに立った吉
田としお衆議院東京15区予
定候補は「民主、自民、公
明三党で談合し、悪政を進
めようとしている。国民的
なたたかいを巻き起こして
ぐ改悪で保険料が上がる一
方、デイサービスやヘルパー
派遣で受けられる介護が減っ
ている問題を取り上げ、制
度の改善と国の財政負担を
求めよと迫りました。また、
緊急通報システムや食事サー
ビスなど見守り支援の拡充
を求めました。



基調報告する森外米蔵事務局長

森外米蔵事務局が基調報
告、江東区の事業所数は2
万294、従業員10人未
満の事業所数は1万303
5と全体の54%を占め、所
得200万円以下は55%。
国民健康保険料滞納世帯率
は39・16%となっています。
「本業だけでは食べてい
けない」「税金や社会保険
料が払えない」「年少扶養
控除がなくなり、特定扶養
控除が削られ、所得税が大
きく増えた」など区内業者
の実態が報告されました。
最後に中小業者が抱えて
いる悩みや要求を組織力と
相談力を発揮して吸い上げ、
経営対策に強い江東民主商
工会をつくらうと！と呼び
かけました。

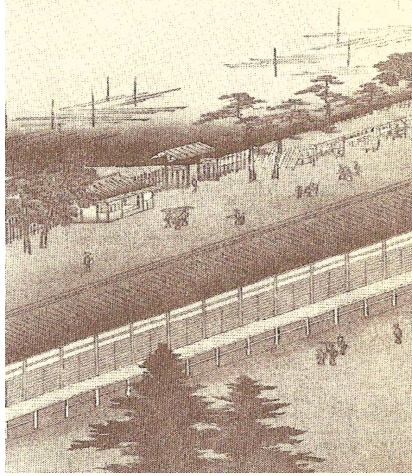
第67回 江東民主商工会 定期総会
営業とくらしを守る政治の実現を！

東京で梅雨入り、
暗雲が垂れ込めて
気温も乱高下する
憂うつな季節です。
沖縄県議選で日本共産党県議
団の5議席確保は朗報ですが、
憂えるべき多くのニュースモ
伝えられています。内閣府の
発表では、昨年の自殺者が、
14年連続3万人をこえました。
19歳未満が622人、20歳台
が3300人と増え、若年層
の自死が、希望のない閉塞社
会の特徴です。地下鉄サリン
事件などの容疑者の逃亡劇が
マスコミを賑わしていますが、
この17年間、世界で最も安全
だといわれている日本でのあ
の凶暴なテロの要因について、
厳密な究明はされていません。
加熱した報道が国会での重大
な論議から国民の目をそらす
との警告もあります。「決定
できる民主主義」という橋下
維新に触発されたのか、野田
首相は直下に活断層の可能性
がある大飯原発再稼働を決定
しました。昨年の大災害の教
訓からなにも学ぶことなく、
選挙で国民に選ばれたとはい
え、次々に交代する政治家の、
科学的裏付けもない判断です。
密室での民間公断者談合は、
政権交代の意義を台無しにし
て、その結末は増税と負担増
だけを庶民に押し付けること
になることは明白です。民主
党分裂に乗ずる自・公の政権
復帰や橋下維新の国政進出を
許さず、今こそ命と暮らし守
る政治へすすまなければなら
ない時です。

「寺町の形成」

概説

江東の歴史 (11)



歌川広重「深川三十三間堂」(名所江戸百景)

深川の清澄通りに接している白河、清澄、三好、平野、深川2丁目あたりは、ほとんどが江戸市中から移転してきた寺が多く、寺町といわれてきました。

白河1丁目の靈巖寺(浄土宗)は、家康、秀忠、家光の信頼の篤かった靈巖が、1624(寛永元)年、中央区の靈巖島に創建し、明歴の大火後の1658(万治元)年に移転。(江戸時代の地図では浄心寺に隣接している)寺領百石を与えられた区内で最も格式が高く、国の史跡・松平定信の墓や都の文化財の銅造地蔵(江戸六地蔵)があります。町名の白河は定信が藩主の白河藩に由来しています。

平野2丁目の浄心寺は1658年に当地に創立。開基は4代将軍家綱の乳母三沢の局で、家康の(孫)娘 千姫の吉田御殿を移して本堂にしました。境内は1万坪、寺領百石の大寺です。その寺の鐘は戦時中に供出させられたので、川越市の「時の鐘」に使われていたのを譲り受けました。「里見八犬伝」の滝沢馬琴はこの門前で生まれて少年時代を過ごしました。

深川2丁目には、正覚寺、恵然寺、増林寺、海福寺、心行寺、玄信寺、法乗院(えんま堂)、陽岳寺と並んでいました。海福寺は目黒区に移転し、その跡地に明治小が建っています。恵然寺は寒光寺と改名。心行寺は深川七福神の一つ(福祿寿)で、五重石塔に鎌倉時代の金石文が刻まれています。南端の陽岳寺には、幕府御舟方向井忠勝、京都伏見義民、画家の英信勝・観嵩月の墓など四つの都指定の旧蹟があります。

富岡の深川不動は江戸時代にはなく、成田山新勝寺が1703(元禄16)年から、明治維新で廃寺となった永代寺を借りて不動尊の出開帳をおこなっていました。今の不動堂を建てたのは明治14年です。なお、永代寺はその塔頭だった吉祥院がその名をついでいます。

さよなら原発・江東 講演会 現在と未来のエネルギーを考える



6月9日、「さよなら原発・江東」は「現在と未来のエネルギーを考える」をテーマに増田喜信さん(元・気象研究所研究室長、理学博士)を講師に迎え産業会館にて講演会を行いました。

増田さんは、チェルノブイリや福島での原発事故は、現在の原発が未完成な技術であることを示し、原発からの撤退を求めました。

講演をする増田喜信さん 退以外に道はないと語り、原発なしでも電力は十分賄えることを強調しました。そして原発廃炉には莫大な費用と長い時間が必要で、現在でも使用済み核燃料の処理・処分は多くの危険な問題を抱えていることを訴えました。また水力・風力発電は日本の環境に合わせ小型化すること。火力エネルギーは地球温暖化をもたため、コン



5月27日、江東区労連は第22回定期大会を総合区民センターで開催し、加盟団体から91名が参加しました。

新野議長の開会あいさつの後、来賓あいさつにたつた吉田としお衆議院東京15区予定候補は「いま労働者の仕事も暮らしも大変な時期、江東区労連の役割は益々重要になっています」と述べ、消費税・TPPを初めとした国民的たたかいに共に頑張る決意を表明しました。清水事務局長からは憲

講演に参加したフェリス学院大学の学生からは脱原発をめざしたエコキャンパスづくりの取組み、「子どもと一緒に考える原発と放射能のお話実行委員会」からは「子どもを被曝させたくない」と考え、江東区職労福祉支部からは婦

江東区労連第22回定期大会 雇用・暮らし・憲法を守る政治を！ 5月27日、江東区労連は第22回定期大会を総合区民センターで開催し、加盟団体から91名が参加しました。

法改悪反対の「9の日宣伝」を毎月行い85回までに達したことや、公契約条例の実現に向けた運動、原発セロのたたかいなどを中心とした、一年間の経過報告がありました。内田副議長はオリンピック招致における都・区政の状況、子育て支援や教育の民主化のたたかい、未組織労働者の組織化などの運動方針を提案。討論では、厳しい経済情勢・劣悪な労働環境の中でもたたかいを進めている「地域労組こつこつ」の取り組みなど9名から発言がありました。

裁判をたたかっている日本航空争議団からは「3月末東京地裁から不当判決があった。労働者の基本的権利、空の安全確保のため、職場復帰をめざし頑張りたい」との決意が表明され、全体の「団結がんばろう」の力強い唱和で閉会しました。

被災地ボランティア報告 青年のつどい 5月20日、青年のつどい実行委員会・正保みきお事務所による「青年のつどい」が北砂中央集会所で行われました。宮城県石巻・登米市で被災した民家の片づけや、聞き取り調査のボランティアに参加した高校生は「実際に行かないとわからない被害の大きさを感じました。被災地を訪れて様々なことを考えさせられ、自分のできることを教えてくれました。また参加したい」と感想を語りました。

正保事務所では、14万9千200円の募金を集めるなど青年と一緒にボランティア活動の計画を立ててきました。

行事日程 7月10日(火)「なぜ下がる私たちの年金」(年金者組合江東支部・江東社保協) 13時開場 江東文化センター・視聴覚室 7月28日(土)「経営者が語る原発なしの経済」(さよなら原発・江東) 14時〜 ティアラこつこつ・大会議室